

志位委員長 福島第1原発を視察

汚染水増加 「収束」程遠く

東京電力福島第1原発（福島県双葉町、大熊町）が2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震とそれに伴う巨大な津波で史上最悪の原発事故を引き起こしてまもなく2年。日本共産党の志位和夫委員長らは9日、同原発を視察しました。壁面が崩れ落ち水素爆発の影響が生々しい4号機の原子炉建屋最上階や、敷地を埋める放射能汚染水をためた巨大タンク群、津波の爪痕がまだに残る海側などを視察。視察を終えた志位氏は「収束」には程遠い。事故の真った中にあるという状況で、とくに汚染水の問題が深刻だと痛感した」と述べました。



原子力発電所構内を視察する、志位和夫委員長（右から4人目）ら日本共産党の視察団。9日、東京電力福島第1原子力発電所発電重要棟

視察団は志位氏のほか、件のもとの仕事に敬意を表します。非常に長く、多院議員、紙智子参院議員、党福島県議団（神山悦子団長）ら。

視察団は楢葉町の作業拠点・J・レックスをバスで出発。警戒区域内に入ると、車窓から荒れ果てた住宅や雑草が生い茂った畑が広がり、時間が止まったかのようです。

福島第1原発事故の復旧作業の拠点となっている発電重要棟の緊急対策室に入ると、志位氏は「過酷な条

件のもとの仕事に敬意を表します。非常に長く、多くの困難が予想されますが、健康と安全を第一に力を尽くしてください。私たちも国政にあるものとしてがんばります」とねぎらい、福長昌敏・第1原発工ニット所長らの説明を聞きました。

この後、視察団は全面マスクと防護服を着用し、バスで敷地内を移動。



汚染水貯蔵タンク群を見上げる志位和夫委員長（右から2人目）ら日本共産党の視察団。9日、東京電力福島第1原子力発電所

ヤンヤンから原発に飛鳥は500人



日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

2013.3.12 No.1121.

ご相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX

さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」・メガシティ近く)

日本共産党議員団
区役所内 3908-7144
<http://www.kitanet.ne.jp/kyoukita/>

●あの日から丸2年。北区内でも昨年について、飛鳥山公園での集会と王子駅前からのパレードをおこないました。

●福島原発事故でふるさとを奪われた門馬昌子さん（浪江町より神谷に避難されて2年を迎えられた）は「健康だった夫が今では、歩くことさえ困難になりました。」



心も身体も原発で壊れた2年間だったと怒りをこめて告発されました。
2013.3.10.

2013.3.10付
「しんぶん赤旗」